

ソコンと16ビットのパソコンを使用しました。スーパーパソコンでは大型計算機用に開発したシステム (FORT RAN)を、パソコンには従来8ビットパソコンに開発していたシステム (BASIC)を使った。これらのプログラムは、森敬氏のEMSや日経のMARSのようなインタラクティブな処理を可能とするシステムをめざして開発したものである(ただし、すべての機能を満たしているわけではない)。計量経済分析においては、同時推定法などの莫大な計算量をとまらぬ手法を用いないかぎり現在の

パソコンでも十分であり(将来は同時推定法等も可能であろう)パソコンの利点をいかしグラフィック機能等を利用すれば、きわめて効率的にモデル開発が可能であった。

計量経済モデルについては、近年その予測力の低下が指摘されるが、この問題点の1つとしては構造不変、つまりパラメーター一定という点にあると考え、赤池氏のABICを利用したベイズ型帰帰モデルによる分析を行っている。(ただし、牛肉モデルでは使っていない)

## 会合記録

( )内は出席者人数

支部長会議	11月2日(金)(16)
モニター会議	11月4日(日)(16)
庶務幹事会	11月6日(火)(5)
編集委員会(OR誌)	11月7日(水)(9)
IAOR委員会	11月8日(木)(2)
普及委員会	11月12日(月)(4)
表彰委員会	11月13日(火)(7)
視察団座談会	11月14日(水)(6)
国際委員会	11月15日(木)(7)
広告委員会	11月27日(火)(3)
研究普及委員会	11月29日(木)(7)
理事会	11月30日(金)(16)

## 第4回理事会議題

(59.11.30)

1. 庶務関係
  - 1) 第3回理事会議事録承認の件
  - 2) 入退会の件
  - 3) 会員増強の件
  - 4) 支部長会議開催報告
2. 研究普及関係
  - 1) 第12回シンポジウム開催報告
  - 2) 秋季研究発表会開催報告
  - 3) 1985年春季研究発表会の件
  - 4) 研究部会・グループ新設・継続申請の件
  - 5) 定例講演会開催報告と予定
  - 6) 第5回ORセミナー開催報告
  - 7) 第10期モニター依頼の件

## 8) 第2回国際経済経営会議開催の件

3. 国際関係
  - 1) IFORS 投票の件
  - 2) APORS の件
4. 編集関係
  - 1) OR誌12月号, 1月号の企画
  - 2) JORSJ の現状報告
5. 表彰関係
6. 日本学術会議/FMES 関係
7. 協賛依頼の件(2件)
8. その他

**編集後記**▶いよいよ新しい年の幕開けとなりました。かつて、昭和60年を目標とした長期計画が各所で策定されました。それに比べて実際の今年はどうなりましたか。高度情報化が言われはじめて数年が経過しましたが今年は本格的に動きはじめることになるでしょう。時代の流れは今まで以上に早く、そして1つの現象が現われて消えるサイクルは短く、それだけ確かな目で社会を見

る力が必要となりましょう。▶またもう1つのわが国にとっての大きな流れ、国際化、もますます身近に感じられるようになってまいりました。新年第1号の特集「第三世界とマイコン」はまさに今の時代にマッチしたテーマであります。ORの対象領域もそれだけ幅広くなったということでしょうか。(J)

# オペレーションズ・リサーチ

昭和60年1月号 第30巻 (新シリーズ第10巻) 1号 通巻289号  
 代表者 近藤次郎  
 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
 (電話 03-815-3351~2) 〒113  
 編集人 牧野都治  
 発売所 株式会社 日科技連出版社  
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (563-2241) へ